



「人をもって城と成す」

教頭 山崎 幸則

新型コロナウイルス感染症が全国的に再拡大する中で、2年生の修学旅行が12月12日（月）から16日（金）までの4泊5日の日程で実施されました。今年も昨年に引き続き鹿児島・熊本を訪問し、修学旅行を終えた生徒の表情から、充実した研修がなされ心に残る修学旅行となったことを感じました。

何より体調を崩す生徒が1人も出ることなく、全日程を参加者全員で実施できたことが一番の喜びです。朝起きるのが苦手であったり、集団での行動が難しい人もいるでしょうし、普段と違い気遣いも大きかったはず。それぞれに集団生活を営むことには大なり小なりの壁があるものです。そのような中で5日間の研修をやり遂げたことは、各自そして70回生の大きな自信として今後につなげて欲しいと思います。自分を褒めることで自己肯定感も高めましょう。

次に、感謝の気持ちが感じられたことに2年生の強みを見させてもらった気がします。旅行前は元気が足りないかと心配しましたが、各人伸び伸びとした言動で、その陰にはこの修学旅行に関わった多くの人に感謝の念がありました。行く先々での挨拶には他の旅行客からお褒めの言葉を頂いたほどです。これは人としての魅力であり大切に持ち続けなければならないことです。特に保護者には恥ずかしいですが、その思いを伝えて欲しいと思います。お土産を手渡す際、旅行中の経験を添えて語ることができたでしょうか。その話から少し成長したことを感じ嬉しさが何倍にもなります。モノより思い出が大切なのです。

最後に、自主研修では鶴丸城を訪問しました。鶴丸城は天守閣のない質素な屋形だったようです。薩摩藩には、「城をもって守りと成さず、人をもって城となす」という教えがあることを知りました。国を守るのは堅固な城ではなく、人の力であるという意味です。集団が個々人の能力や特徴を掴み、互いに尊重し、生かしながら、各人がその才能を十分発揮し、集団を形成していく。当時の薩摩藩の様子と現在の上高とを重ねたいと願ったところです。江戸から遠く離れた薩摩の地から新たな明治の世を創造した若者が多く出たように、皆さんも世界を舞台に活躍する未来をともに創っていきましょう。



■ 1学年より

過日行われた島内弁論大会で1年生が優秀な成績を収めました。日頃抱いている問題意識を文章にして推敲し、声に出して表現する練習を2週間ほど実施して迎えた本番でしたが、3人の弁士の皆さんは練習の成果をしっかりと発揮してくれました。3名の弁士の皆さんの努力には、本当に頭が下がる思いです。

今回の弁論の準備で皆さんが行ったように、心のどこかに引っかかったことに注目して、掘り起こすことはとても大切なことです。それが町のことであっても、自分自身のことであっても、掘り起こして向き合い、解決に向けて試行錯誤することで人間は成長していきます。是非、小さな引っかかりを大切にしてください。

■ 2学年より

早いもので2年生の2学期も終わろうとしています。この2学期で70回生が中堅学年として大きく成長しました。多くの生徒が自分の進路について考え、学習や資格試験、アルバイトなどに真剣に取り組みました。また学校行事や部活動においては、葛藤や悩みを抱えながらも、仲間と協力したり、周囲に相談したりしてよりよいものを作りあげようと努力しました。また先日の修学旅行では、1年次から繰り返し伝えてきた「自分の頭で考えて行動する」という真価が問われました。5日間の日程の中で、集合に遅れた生徒は一人もおらず、大きく体調を崩す生徒もいませんでした。楽しむ時は思いっきり楽しみ、自分を律し抑えるところは抑える。多少の失敗はあっても、そこから学ぶことも多いにあったはず。とても充実した修学旅行となりました。そこで得た経験と学びを今後の学校生活に活かし、さらに大きく成長してくれるものと信じています。保護者の皆様におかれましては、年末の忙しい時期に三者面談にお越しいただきありがとうございます。3学期もどうぞよろしくお願いたします。

■ 3学年より

共通テストを受験する1, 2組の皆さん。勝負の時は迫ってきました。私が高校3年生の時、部屋に貼って自分を奮い立たせていた言葉を紹介いたします。「臥薪嘗胆」。平たく言えば、「自らの目的・目標を達するために苦労を重ねること」という意味です。皆さんの目標（第一志望）を再確認し、残り約20日苦労（学習）を重ね、悔いのない日々にしてください。

3, 4組の皆さん。来年の4月からは新天地での生活が始まります。そんな中で良いスタートダッシュを切れるように、冬休みは自らに必要な準備をする最良の時間ととらえ、生産性のある日々を送ってください。

69回生の皆さん、良いお年を。



2年生修学旅行

12月12日(月)から16日(金)の間、鹿児島・熊本方面に修学旅行に行ってきました。コロナ禍の中での実施ではありましたが、全員無事に修学旅行を終えることができました。生徒それぞれが多岐の経験を経験し、成長した5日間でした。きっと一生の思い出になることと思います。ご理解とご協力をいただきました保護者の皆様に心から感謝いたします。



人権教育

12月8日(木)に、SNS上での誹謗中傷をテーマに人権教育を行いました。実話をもとにした映画「いわなき誹謗中傷との闘い」を鑑賞し、誹謗中傷の現実や対策について学びました。その後、グループで加害者・被害者の立場に立って考えを深め、意見交換をしました。今回の学習をきっかけに、SNSの使い方を見直し、ルールやモラルを意識した使い方をして欲しいと思います。



OB講演会

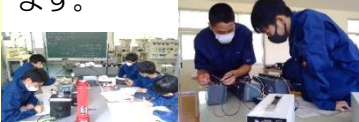
12月9日(金)に、OB講演会が行われました。46回生で長崎みなとメディカルセンター臨床工学技士をされている濱田 啓介氏に『失敗を恐れず挑戦しよう!』と題して、経験に基づくお話をいただきました。先輩の貴重なお話を聞くことができ、生徒たちも自分自身の可能性を広げる機会となり、また、進路について考える良い機会となったと思います。



特集～電気情報科～

1学年

1年生では、中学校で学んだ電流、コンピュータやプログラミングなど、工業を学ぶ上で必要な基礎知識や、工具や機器の使い方を学びます。



2・3学年

2・3年生では、電気エネルギーの流れや大型の電気機械について、半導体素子の特性や電子回路の基礎、電気情報製図などを学びます。

インタビュー 3年 三宅雄磨君



大変だったことは何ですか?

第二種電気工事士の資格取得です。この資格は、入学してすぐに挑戦する資格になります。電気の知識がまだあまり身に付いていない状態での資格取得だったので、わからないことだらけで難しかったです。

【2年生】

第一種電気工事士資格取得に向けて練習中

取得可能な資格

- * 第二種電気工事士
- * 第一種電気工事士
- * 第三種電気主任技術者
- * 危険物取扱者
- * 計算技術検定
- * リスニング英語検定
- * 情報技術検定
- * 電気工事施工管理技術検定

皆さんは、電気情報科がどんな学科かご存じですか?今回は、電気情報科について紹介します。電気情報科は、生活を支えている電気がどのように作られ、どのように送られてくるかを学びます。また、様々な国家資格の取得を目指しており、電気技術者として、あらゆる分野で活躍できる人材を育成しています。ぜひ、工業棟に来てみてください。

インタビュー 1年 古木陸君

今までに「学んで良かった授業」は何ですか?

「工業基礎」の授業です。自分自身の手でモノを作ったり、回路の抵抗の測定をしたりするため、楽しく学ぶことができます。しかし、遊び半分ですと、ケガをしてしまう恐れがあるため、気をつけなければなりません。



授業「課題研究」

3年生になると『課題研究』という授業があります。それぞれ研究する独自のテーマを決めて半年間かけて研究を行います。



電気情報科のキャラクター【電情くん】LINEスタンプ作成!

現在、電気情報科を希望する人が減ってきているのでPRをしたいと思い、課題研究で24種類のスタンプを作成しました。QRコードとURLから確認、購入できます。なお、売上の収益は発生しません。



<https://line.me/s/ticker/21404478>

インタビュー 2年 武石緋櫻君

電気情報科の授業はどんなところが好きですか。

実習や実技試験の練習が好きです。理由は、昔からモノを組み立てることが大好きだからです。回路が完成したり、結果が出たときに達成感を得られるところが楽しいです。



1月の行事予定

- | | |
|---|---|
| 4日(水) 冬季補習(3学年、～6日) | 17日(火) 薬物乱用防止講話 |
| 7日(土) 共通テストプレ(3学年、～8日) | 19日(木) 学年末考査(3学年、～24日) |
| 10日(火) 3学期始業式・到達度テスト
頭髪服装検査 | 20日(金) 第3回英検1次 |
| 12日(木) 考査時間割発表(3学年)
入学願書受付期間(～18日) | 21日(土) 島内企業バスツアー |
| 13日(金) 課題研究発表会 | 23日(月) 工業系合同企業説明会(2学年) |
| 14日(土) 大学入学共通テスト(～15日)
進研実力模試(1・2学年) | 26日(木) 校内マラソン大会
保健講話 |
| | 27日(金) 校内マラソン大会予備日 |
| | 28日(土) 土曜学習会(1・2学年)
基礎力診断、公務員模試(2学年) |



←上五島高校の最新情報はこちらから。または下のホームページアドレスまで。ホームページを随時更新中です!!

<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>